

令和2年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業  
市民の参加と協働を進める多様なコーディネーション実践研究集会2021  
C-2分科会 [まぜる]「たまたま」を創り出すおもしろさ ～“魅惑のトッピング”にチャレンジしよう!～

実施プログラムを地域での研修・学び・交流につなげる学習キット

相互理解と接点発見に基づく  
「混ぜて組み合わせる」ためのワークシート  
使い方のポイント



実施プログラムを地域での研修・学び・交流につなげる学習キット

# 相互理解と接点発見に基づく 「混ぜて組み合わせる」ためのワークシート

## 【作成経緯と趣旨】

○このシートは、2021年2月28日(日)に開催された『市民の参加と協働を進める多様なコーディネーション実践研究集会』(主催:同企画委員会/認定 NPO 法人日本ボランティアコーディネーター協会)の分科会番号C-2 [混ぜる]「「たまたま」を創り出すおもしろさ～“魅惑のトッピング”にチャレンジしよう!～」のプログラムを基に、今後各地域での研修や学び、交流の場でのツールとして活用してもらうために作成しました。

○「混ぜる/ごちゃ混ぜ」で何が起こるか。答えや正解がない時代と言われる中で、これからは分野や機関、団体を超えて共通点を見出し、相違点を尊重し合う関係が必要ではないか、という仮説から、多様な分野のコーディネーター自身が改めてまざりあう「交流・対話」の時間を持ち、触媒としてのコーディネーションの価値やその向こう側に何をめざすのかを確認していきます。

○ひとつのショートストーリーに、分野を超えたコーディネーションの視点をトッピングし、そこで起こる化学反応、コーディネーションの醍醐味を体験するプログラムです。対話を通じて「禁断の組み合わせ」や「組み合わせの妙」を探ってもらえれば幸いです。

# ①ワークシートを使った進め方と留意点

---

## ○ワークの進め方例（5人1チームの場合／1件90分程度） ※時間は適宜調整ください

- 【1】メンバーの中の1人が自分の事例の概要を紹介する。〔5～10分程度〕
- 【2】自分の立場から紹介事例に対する接点等を考えて記入する。〔5～10分程度〕
- 【3】参加者全員から各々の接点等を紹介し合って、他のメンバーの立場からの接点等のポイントを記入する。〔20分程度／5人〕
- 【4】他のメンバーの立場からの接点等に対して自分の立場からの接点等を記入する。〔10分程度〕
- 【5】参加者全員で紹介事例に対して「混ぜて組み合わせる」中から出てくる可能性のポイントを対話しながら整理する。〔20分程度／5人〕
- 【6】事例提供者から混ぜて組み合わせてみた結果へのコメントを話してもらう。〔5分程度〕
- 【7】参加者全員で対話した中での気づきや学び、これからのアクション、やってみた感想などを出し合って振り返る。〔10分程度／5人〕

# ①ワークシートを使った進め方と留意点

【1】メンバーの中の1人が自分の事例の概要を紹介する。〔5～10分程度〕

■相互理解と接点発見に基づく「混ぜて組み合わせる」ためのワークシート

<p>【1】 紹介事例概要 (事例提供者名: )</p>	<p>【2】 自分の立場から紹介 (■接点等)</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
	② ( )	×	
	③ ( )	×	
	④ ( )	×	

【6】 事例提供者からのコメント

【7】 全体振り返り (自分の気づきや学び、これからのアクション、感想など)

○ワークの進め方例 (6人1チームの場合/1件90分程度)

【1】メンバーの中の1人が自分の事例の概要を紹介する。(5~10分程度)	【5】参加者全員で紹介
【2】自分の立場から紹介事例に対する接点等を考えて記入する。(5~10分程度)	【6】事例提供者から紹介
【3】参加者全員が各々の接点等を紹介し合っており、他のメンバーの立場からの接点等のポイントを紹介する。(20分程度/1)	【7】参加者全員で対話
【4】他のメンバーの立場からの接点等に対して自分の立場からの接点等を記入する。(10分程度)	

**個人ワーク**

- ①事例提供者名を記入します。
- ②他のメンバーは話を聴きながら、紹介事例のポイントなどを記入します。
- ③事例提供者からの資料などがあれば、そのポイントを抜き書きして整理します。

○事例提供者の話をよく聴くことが大切です。時間があれば質疑応答を行って理解を深めていきましょう。

# ①ワークシートを使った進め方と留意点

## 【2】自分の立場から紹介事例に対する接点等を考えて記入する。〔5～10分程度〕

■相互理解と接点発見に基づく「混ぜて組み合わせる」ためのワークシート

名前: \_\_\_\_\_

<p>【1】紹介事例概要 (事例提供者名: _____)</p>	<p>【2】自分の立場から紹介事例に対する接点等 (■接点等=共通点、関心があること、関われそうなこと、支援や貢献ができることなど)</p>	<p>【5】混ぜて組み合わせる中から出てくる 可能性のポイント整理</p>
	<p>【3】他のメンバーの立場からの 紹介事例に対する接点等</p>	
<p>【6】事例提供者からの</p>		

個人ワーク

- ①話を聴いて感じた共通点、関心があること、関われそうなこと、支援や貢献ができそうなことなどを列挙します。
- ②個人的な直感レベルでも構いません。積極的に「接点探し」をすることがポイントです。

○ワークの進め方例 (6人1チームの場合/1件90分程度)

【1】メンバーの中の1人が自分の事例の概要を紹介する。(5~10分程度)	【5】参加者全員で紹介事例に対して「混ぜて組み合わせる」中から出てくる可能性のポイントを対話しながら整理する。(20分程度/5人)
【2】自分の立場から紹介事例に対する接点等を考えて記入する。(5~10分程度)	【6】事例提供者から混ぜて組み合わせさせた結果へのコメントを話してもらう。(5分程度)
【3】参加者全員が各々の接点等を紹介し合っ、他のメンバーの立場からの接点等のポイントを記入する。(20分程度/2)	【7】参加者全員で対話した中での気づきや学び、これからのアクション、やってみようなどを出し合っ振り返る。(10分程度/5人)
【4】他のメンバーの立場からの接点等に対して自分の立場からの接点等を記入する。(10分程度)	

Copyright©2021 Takayuki Karube All rights reserved.

# ①ワークシートを使った進め方と留意点

【3】参加者全員から各々の接点等を紹介し合って、他のメンバーの立場からの接点等のポイントを記入する。〔20分程度／5人〕

■相互理解と接点発見に基づく「混ぜて組み合わせる」ためのワークシート

名前: \_\_\_\_\_

<p>【1】紹介事例概要 (事例提供者名: _____)</p>	<p>【2】自分の立場から紹介事例に対する接点等 (■接点等=共通点、関心があること、聞かれそうなこと、支援や貢献ができることなど)</p>	<p>【5】混ぜて組み合わせる中から出てくる 可能性のポイント整理</p>
<p>【6】事例提供者からのコメント</p>	<p>【3】他のメンバーの立場からの 紹介事例に対する接点等</p> <p>① ( )</p> <p>② ( )</p> <p>③ ( )</p> <p>④ ( )</p>	<p>【4】自分</p>
<p>【7】全体振り返り(自分の気づきや学び、これからのアクション、感想など)</p>		

○ワークの進め方例(6人1チームの場合/1件90分程度)

【1】メンバーの中の1人が自分の事例の概要を紹介する。(5~10分程度)	【5】参加者全員で紹介事例に対して「混ぜて組み合わせる」中から出てくる可能性のポイントを話しながら整理する。(20分程度/5人)
【2】自分の立場から紹介事例に対する接点等を考えて記入する。(5~10分程度)	【6】事例提供者から選んで組み合わせさせた結果へのコメントを述べてもらう。(5分程度)
【3】参加者全員から各々の接点等を紹介し合って、他のメンバーの立場からの接点等のポイントを記入する。(20分程度/5人)	【7】参加者全員で話し合った中での気づきや学び、これからのアクション、やってみようと思ったことなどを出し合って振り返る。(10分程度/5人)
【4】他のメンバーの立場からの接点等に対して自分の立場からの接点等を記入する。(10分程度)	

Copyright©2021 Takayuki Karube All rights reserved.

## グループワーク

- ①【2】で記入した内容を参加者同士で紹介し合います。
- ②他のメンバーが感じた接点等を名前とともにメモを残します。

# ①ワークシートを使った進め方と留意点

【4】他のメンバーの立場からの接点等に対して自分の立場からの接点等を記入する。〔10分程度〕

■相互理解と接点発見に基づく「混ぜて組み合わせる」ためのワークシート

名前: \_\_\_\_\_

【1】紹介事例概要 (事例提供者名: _____)	【2】自分の立場から紹介事例に対する接点等 (■接点等=共通点、関心があること、関われそうなこと、支援や貢献ができることなど)	【5】混ぜて組み合わせる中から出てくる 可能性のポイント整理
	×	=
	【3】他のメンバーの立場からの 紹介事例に対する接点等	【4】自分と他のメンバーとの接点等
	×	=
	×	=
	×	=

全体振り返り(自分の気づきや学び、これからのアクション、感想など)

○ワークの進め方例(6人1チームの場合/1件90分程度)

【1】メンバーの中の1人が自分の事例の概要を紹介する。(5~10分程度)	【5】参加者全員で紹介事例に対して「混ぜて組み合わせる」中から出てくる可能性のポイントも話しながら整理する。(20分程度/5人)
【2】自分の立場から紹介事例に対する接点等を考えて記入する。(5~10分程度)	【6】事例提供者から選んで組み合わせさせた結果へのコメントも話してもらう。(5分程度)
【3】参加者全員が各々の接点等を紹介し合っており、他のメンバーの立場からの接点等のポイントも記入する。(20分程度/2)	【7】参加者全員で話し合った中での気づきや学び、これからのアクション、やってみようと思ったことなどを出し合っており振り返る。(10分程度/5人)
【4】他のメンバーの立場からの接点等に対して自分の立場からの接点等を記入する。(10分程度)	

Copyright©2021 Takayuki Karube All rights reserved.

## 個人ワーク

- ①【3】の他のメンバーの内容を見て、自分の立場からの接点を記入します。
- ②個人的な直感レベルでも構いません。積極的に「接点探し」をすることがポイントです。

# ①ワークシートを使った進め方と留意点

【5】参加者全員で紹介事例に対して「混ぜて組み合わせる」中から出てくる可能性のポイントを対話しながら整理する。〔20分程度／5人〕

■相互理解と接点発見に基づく「混ぜて組み合わせる」ためのワークシート

【1】 紹介事例概要 (事例提供者名: )	【2】 自分の立場から紹介事例に対する接点等 (■接点等=共通点、関心があること、聞かれそうなこと、支援や貢献ができることなど)	【5】 混ぜて組み合わせる中から出てくる 可能性のポイント整理
【6】 事例提供者から	のアクション、感想など)	

○ワークの進め方 (6人1チームの場合/1件90分程度)

【1】メンバーの中の1人が自分の事例の概要を紹介する。(5~10分程度)	【5】参加者全員で紹介
【2】自分の立場から紹介事例に対する接点等を考えて記入する。(5~10分程度)	【6】事例提供者から
【3】参加者全員が互いの接点等を紹介し合っ、他のメンバーの立場からの接点等のポイントを記入する。(20分程度/2)	【7】参加者全員で対話
【4】他のメンバーの立場からの接点等に対して自分の立場からの接点等を記入する。(10分程度)	

**グループワーク**

- ① 紹介事例と【2】【3】【4】で書き込んだお互いの接点をみながら、それらを「混ぜて組み合わせる」ことで何が出てきそうかを話し合って記入します。
- ② 実現可否よりも「これもありかも」というくらいに気軽に出し合ってみます。特に、増幅できたり、補完し合えるものには注目してみましょう。

○参加者同士がお互いの接点を評価や否定することなく、便乗し合う感覚で出し合うと可能性が広がっていきます。



# ①ワークシートを使った進め方と留意点

【6】事例提供者から混ぜて組み合わせてみた結果へのコメントを話してもらう。  
〔5分程度〕

■相互理解と接点発見に基づく「混ぜて組み合わせる」ためのワークシート

名前: \_\_\_\_\_

<p>【1】紹介事例概要 (事例提供者名: _____)</p> <p>_____</p>	<p>【2】自分の立場から紹介事例に対する接点等 (■接点等=共通点、関心があること、関われそうなこと、支援や貢献ができることなど)</p> <p>_____</p>	<p>【5】混ぜて組み合わせる中から出てくる 可能性のポイント整理</p> <p>_____</p>
	<p>×</p>	<p>=</p>
	<p>【3】他のメンバーの立場からの</p>	<p>【4】自分と他のメンバーとの接点等</p>
		<p>=</p>
<p>【6】事例提供者からのコメント</p> <p>_____</p>	<p>【7】全体振り返り(自分の気づきや学び、これからのアクション、感想など)</p> <p>_____</p>	

**個人ワーク**

①【5】で混ぜた組み合わせてみた結果を見て事例提供者からコメントを話してもらいます。  
②コメントの気になったポイントを記入します。

○ワークの進め方例(6人1チームの場合/1件90分程度)

【1】メンバーの中の1人が自分の事例の概要を紹介する。(5~10分程度)	【5】参加者全員で紹介事例に対して「混ぜて組み合わせる」中から出てくる可能性のポイントも対話しながら整理する。(20分程度/5人)
【2】自分の立場から紹介事例に対する接点等を考えて記入する。(5~10分程度)	【6】事例提供者から混ぜて組み合わせてみた結果へのコメントを話してもらう。(5分程度)
【3】参加者全員が各々の接点等を紹介し合って、他のメンバーの立場からの接点等のポイントを記入する。(20分程度/2)	【7】参加者全員で対話した中での気づきや学び、これからのアクション、やってみた感想などを出し合って振り返る。(10分程度/5人)
【4】他のメンバーの立場からの接点等に対して自分の立場からの接点等を記入する。(10分程度)	

Copyright©2021 Takayuki Karube All rights reserved.

# ①ワークシートを使った進め方と留意点

【7】参加者全員で対話した中での気づきや学び、これからのアクション、やってきた感想などを出し合って振り返る。〔10分程度／5人〕

■相互理解と接点発見に基づく「混ぜて組み合わせる」ためのワークシート

名前: \_\_\_\_\_

【1】紹介事例概要 (事例提供者名: _____)	【2】自分の立場から紹介事例に対する接点等 (■接点等=共通点、関心があること、関われそうなこと、支援や貢献ができることなど)	【5】混ぜて組み合わせる中から出てくる 可能性のポイント整理
	×	=
	×	=
【6】事例提供者からのコメント	【7】全体振り返り(自分の気づきや学び、アクション、感想など)	

**グループワーク**

①参加者全員で対話した中での振り返りを行い、自分の気づきや学び、アクションなどを記入します。

②他のメンバーの気づきなどで気になったことなどはメモで残しておきます。

○ワークの進め方例(6人1チームの場合/1件90分程度)

【1】メンバーの中の1人が自分の事例の概要を紹介する。(5~10分程度)	【5】参加者全員で紹介事例に対して「混ぜて組み合わせる」中から出てくる可能性のポイントも対話しながら整理する。(20分程度/5人)
【2】自分の立場から紹介事例に対する接点等を考えて記入する。(5~10分程度)	【6】事例提供者から混ぜて組み合わせるための提案へのコメントも述べてもらう。(5分程度)
【3】参加者全員が各々の接点等を紹介し合っており、他のメンバーの立場からの接点等のポイントも記入する。(20分程度/5人)	【7】参加者全員で対話した中での気づきや学び、これからのアクション、やってきた感想などを出し合って振り返る。(10分程度/5人)
【4】他のメンバーの立場からの接点等に対して自分の立場からの接点等も記入する。(10分程度)	

Copyright©2021 Takayuki Karube All rights reserved.

# ②オンラインで実施した際のプログラムとワークシートの関係

■市民の参加と協働を進める多様なコーディネート実践研究会2021 オンライン版進行表

【テーマ】対話セッション分科会C-2「まぜる」「たまたま」を創り出すおもしろさ～魅惑のトッピングにチャレンジしよう！～

【日時】2021年2月28日(日)10:00～12:00

【会場】オンライン(ZOOM) ※9:50から待機室入室可能 / URLは主催者設定

【進行】A

【凡例】

①～ファシリテーター、②～事務局員、③～コーディネーター  
 ルーム：M～メインルーム、B～ブレイクアウトルーム

時刻	所要時間	内容	共有Slide	担当	ルーム		スタッフ勤務一覧							
					M	B	ホスト	共同ホスト	共同ホスト	共同ホスト	共同ホスト	共同ホスト	共同ホスト	
								FA	FB	FC	FD	FE	FF	
09:30~09:50	20	事務局打合せ 「まぜる」参加型プログラムの確認など / 参加者にホストを誘う												
09:50~10:00	10	参加者入室 「まぜる」参加型プログラム～お名前チェック～入室許可 「まぜる」参加型プログラム「使用説明書」で第一声いただく。 「名前」を本名に変更するように促す 「参加型」は開始より入室完了 / 入室シート												
10:00~10:10	[10]	■オリエンテーション 「まぜる」参加型プログラム / 入室完了 ①オリエンテーション～参加説明 ②事務局員紹介～プログラム説明												
10:10~10:25	[5]	■ショートストーリー①「Fさんのお話」 「語り」												
10:25~10:40	[15]	■対話①「あなたの立場から何がトッピングできそうですか」 ①テーマ / 決め方説明 「まぜる」参加型が各々のテーマで作りメモづくり (2分) ②ブレイクアウトルームでの決め方説明 (2分) ※事前30分前まで入室 / 対応時間10分 / 共有のみで可 ③ブレイクアウトルームへ移動【3~4人×10ルーム / 白紙】 「まぜる」参加型同士で / 自己紹介 / 内容共有 (10分) ④メインルームへ移動												
10:40~10:55	[15]	■ショートストーリー②「Bさんのお話」 「語り」												
10:55~11:10	[15]	■対話②「あなたの立場から何がトッピングできそうですか」 ①テーマ / 決め方説明 「まぜる」参加型が各々のテーマで作りメモづくり (2分) ②ブレイクアウトルームでの決め方説明 (2分) ※事前30分前まで入室 / 対応時間10分 / 共有のみで可 ③ブレイクアウトルームへ移動【3~4人×10ルーム / 白紙】 「まぜる」参加型同士で / 自己紹介 / 内容共有 (10分) ④メインルームへ移動												
11:10~11:15	5	○小休憩 「まぜる」参加型は入室完了 / 入室完了												
11:15~11:40	[25]	■対話③「コーディネーターはどこまで「まぜる」ことを目指せばよいのでしょうか」 ①テーマ / 決め方説明 「まぜる」参加型が各々のテーマで作りメモづくり (2分) ②ブレイクアウトルームでの決め方説明 (2分) ※事前30分前まで入室 / 対応時間20分 / 共有のみで可 ③ブレイクアウトルームへ移動【3~4人×10ルーム / 白紙】 「まぜる」参加型同士で / 自己紹介 / 内容共有 (20分) ④メインルームへ移動												
11:40~11:55	15	■全体セッション 「まぜる」参加型は「まぜる」A5用紙に書き出して画面から提示 「まぜる」参加型のみ自身で参加型プログラム / 参加型は各自で提示 「まぜる」参加型メンバーからのコメント												
11:55~12:00	5	■全体振り返り～事務局員 「まぜる」参加型のみ自身で参加型プログラム / 参加型は各自で提示 「まぜる」参加型メンバーからのコメント												
12:00	120	終了 ※配信事務局にホストを返す												

○これは2021年2月28日(日)に開催された『市民の参加と協働を進める多様なコーディネート実践研究会2021』の分科会C-2「まぜる」「たまたま」を創り出すおもしろさ～“魅惑のトッピング”にチャレンジしよう！～のオンライン版プログラムの進行表です。

○一人の話題提供者に4人の登壇者が感想や質問などを交えながら、自分との相違点を探っていくやり取りを2テーマ行い、各々のテーマで参加者同士に「自分だったらどこに接点を持つ(トッピングする)ことができそうか」を対話してもらいました。

○最後に、2つのテーマで対話した中からコーディネーターとしてどこまで「まぜる」ことが求められるかを振り返り、参加者からは振り返り内容のキーワードをA5用紙に書き出してもらって全体共有しました。

○2時間の参加型プログラムで、多様な視点が行き交う場となりました。

# ②オンラインで実施した際のプログラムとワークシートの関係

■市民の参加と協働を進める多様なコーディネート実践研究会2021 オンライン版運行表

【テーマ】対話セッション分科会C-2「まぜる」「たまたま」を創り出すおもしろさ〜魅惑のトッピングにチャレンジしよう!〜

【日時】2021年2月28日(日) 10:00~12:00

【会場】オンライン(ZOOM) ※9:50から待機室入室可能/URLは主催者設定

【進行】A

【凡例】

①=ファシリテーター、②=事務局員、③=テクニカル

ルーム:M=メインルーム、B=ブレイクアウトルーム

○このオンライン版プログラムの進行表は、いわばオンラインで行う場の「見取り図」のようなものです。

○進行表の左半分は縦軸に時間の進捗と所要時間が置かれ、横では各々の時間に何を行い、どこで共有するスライドを出し、誰が担当して、そのルームで行うのかのプログラムを一覧にして示しています。

○一方、右半分はどのタイミングで誰が何をやるのかが一目でわかる「個別動態一覧」になっています。特に複数のメンバーが登壇やスタッフを行う際には、チーム全体の動きを把握する必要がある一方で、オンラインでは個人個人でパソコンに向き合っているため傍で確認をすることが困難です。その際に全体の動きが網羅された進行表があれば個人でもある程度の判断ができます。

時刻	所要時間	内容	共有Slide	担当	M	ブレイクアウトセッション						
						ホスト	共同ホスト	共同ホスト	共同ホスト	共同ホスト	共同ホスト	共同ホスト
						FA	FB	FC	FD	FE	FF	配信事務局
09:30-09:50	20	事務打合せ										
09:50-10:00	10	参加者入室										
10:00-10:10	10	■オリエンテーション										
	5	■オリエンテーション-参加者										
	5	■オリエンテーション-事務局										
10:10-10:25	15	■ショートストーリー①「Fさんのお話」										
	5	【語り】										
	10	①トッピングトーク										
	10	②トッピング追加トーク										
10:25-10:40	15	■対話①「あなたの立場から何がトッピングできそうですか」										
	4	①ファーム/決め方説明										
	10	②参加者が各自の考えで作りメモづくり(2分)										
	10	③ブレイクアウトルームでの決め方説明(2分)										
	10	④名前30秒間で話す/対話時間10分/共有のみ可										
	10	⑤ブレイクアウトルームへ移動【3-4人×10ルーム/白組】										
	10	⑥参加者同士で自己紹介/内容共有【10分】										
	1	⑦メインルームへ移動										
10:40-10:55	15	■ショートストーリー②「Bさんのお話」										
	5	【語り】										
	10	①トッピングトーク										
	10	②トッピング追加トーク										
10:55-11:10	15	■対話②「あなたの立場から何がトッピングできそうですか」										
	4	①ファーム/決め方説明										
	10	②参加者が各自の考えで作りメモづくり(2分)										
	10	③ブレイクアウトルームでの決め方説明(2分)										
	10	④名前30秒間で話す/対話時間10分/共有のみ可										
	10	⑤ブレイクアウトルームへ移動【3-4人×10ルーム/白組】										
	10	⑥参加者同士で自己紹介/内容共有【10分】										
	1	⑦メインルームへ移動										
11:10-11:15	5	○小休憩										
11:15-11:40	25	■対話③「コーディネートはここまで「まぜる」ことを意識すればよいでしょうか」										
	4	①ファーム/決め方説明										
	10	②参加者が各自の考えで作りメモづくり(2分)										
	10	③ブレイクアウトルームでの決め方説明(2分)										
	10	④名前30秒間で話す/対話時間20分/共有のみ可										
	20	⑤ブレイクアウトルームへ移動【3-4人×10ルーム/白組】										
	20	⑥参加者同士で自己紹介/内容共有【20分】										
	1	⑦メインルームへ移動										
11:40-11:55	15	■全体セッション										
	15	①参加者はキーボードをA5指差し画面から提示										
	15	②出席者の各自で音声発表オン/参加者は音声を返す										
	15	③管理メンバーからのコメント										
11:55-12:00	5	■全体振り返り-事務連絡										
	5	①出席者の各自で音声発表オン/参加者は音声を返す										
	5	②事務局からのコメント										

Copyright©2021 Takayuki Karube All rights reserved.

# ②オンラインで実施した際のプログラムとワークシートの関係

■市民の参加と協働を進める多様なコーディネート実践研究会2021 オンライン版運行表

【テーマ】対話セッション分科会C-2「まぜる」「たまたま」を創り出すおもしろさ〜魅惑のトッピングにチャレンジしよう!〜

【日時】2021年2月28日(日)10:00~12:00

【会場】オンライン(Zoom) ※9:50から待機室入室可能/URLは主催者設定

【進行】A

【凡例】

①~⑦=ファシリテーター、⑧~⑩=事務局、⑪~⑫=コーディネーター

ルーム：M=メインルーム、B=ブレイクアウトルーム

時刻	所要時間	内容	共有Slide	担当	スタッフ勤務一覧							
					M	B	ホスト	共同ホスト	共同ホスト	共同ホスト	共同ホスト	共同ホスト
						ホスト	共同ホスト	共同ホスト	共同ホスト	共同ホスト	共同ホスト	共同ホスト
						FA	FB	FC	FD	FE	FF	共同ホスト
09:30-09:50	20	事務打ち合せ										
09:50-10:00	10	参加者入室										
10:00-10:10	10	■オリエンテーション										
10:10-10:25	15	■ショートストーリー①「Fさんのお話」										
10:25-10:40	15	■対話①「あなたの立場から何がトッピングできそうですか」										
10:40-10:55	15	■ショートストーリー②「Bさんのお話」										
10:55-11:10	15	■対話②「あなたの立場から何がトッピングできそうですか」										
11:10-11:15	5	○小休憩										
11:15-11:40	25	■対話③「コーディネートはとこまで“まぜる”ことを目指せばよいのでしょうか」										
11:40-11:55	15	■全体セッション										
11:55-12:00	5	■全体振り返り・事務連絡										
12:00	120	終了 ※配信事務局にホストを返す										

○このオンラインプログラムの内容を再構成してワークシートにしたものが、先述の『相互理解と接点発見に基づく「混ぜて組み合わせる」ためのワークシート』です。

○ワークシートの【1】～【5】にあたる内容を左記矢印 ◆ で示したパートで2回繰り返しています。

○ワークシートの【6】～【7】にあたる内容を左記矢印 ◆ で示したパートで行っています。

# ②オンラインで実施した際のプログラムとワークシートの関係

■市民の参加と協働を進める多様なコーディネート実践研究会2021 オンライン版運行表

【テーマ】対話セッション分科会C-2「まぜる」「たまたま」を創り出すおもしろさ〜魅惑のトッピングにチャレンジしよう!〜

【日時】2021年2月28日(日)10:00~12:00

【会場】オンライン(Zoom) ※9:50から待機室入室可能/URLは主催者設定

【進行】A

【凡例】

①-ファシリテーター、②-事務局員、③-テクニカル

ルーム:M-メインルーム、B-ブレイクアウトルーム

時刻	所要時間	内容	共有Slide	担当	スタッフ勤務一覧											
					M	B	ホスト	共同ホスト	共同ホスト	共同ホスト	共同ホスト	共同ホスト	共同ホスト	共同ホスト	共同ホスト	共同ホスト
								FA	FB	FC	FD	FE	FF	共同ホスト	共同ホスト	
09:30-09:50	20	事務打合せ ※連絡や参加状況の確認など/参加者にホストを誘う														
09:50-10:00	10	参加者入室 ※参加者入室確認一名ずつチェック入室許可 ※参加者入室確認(使用機器確認)で第一声いただく ※名前を本名に変更するように促す ※参加者は開会まで入室オフ/入室ミュート														
10:00-10:10	10	■オリエンテーション ※参加者は入室オン/入室オフ ※オリエンテーション-参加説明 ※事務局紹介-プログラム説明														
10:10-10:25	15	■ショートストーリー①「Fさんのお話」 ①語り ②トッピングトーク ③トッピング追加トーク														
10:25-10:40	15	■対話①「あなたの立場から何がトッピングできそうですか」 ①ファーム/決め方説明 ※参加者が各自の考えで紙メモづくり(2分) ※ブレイクアウトルームでの決め方説明(2分) ※事前30分前まで終了/対話時間10分/共有のみで可 ②ブレイクアウトルームへ移動【3-4人×10ルーム/白紙】 ※参加者同士で/自己紹介/内容共有【10分】 ③メインルームへ移動														
10:40-10:55	15	■ショートストーリー②「Bさんのお話」 ①語り ②トッピングトーク ③トッピング追加トーク														
10:55-11:10	15	■対話②「あなたの立場から何がトッピングできそうですか」 ①ファーム/決め方説明 ※参加者が各自の考えで紙メモづくり(2分) ※ブレイクアウトルームでの決め方説明(2分) ※事前30分前まで終了/対話時間10分/共有のみで可 ②ブレイクアウトルームへ移動【3-4人×10ルーム/白紙】 ※参加者同士で/自己紹介/内容共有【10分】 ③メインルームへ移動														
11:10-11:15	5	○小休憩 ※参加者は入室オン/入室オフ														
11:15-11:40	25	■対話③「コーディネートはどこまで「まぜる」ことを目指せばよいのでしょうか」 ①ファーム/決め方説明 ※参加者が各自の考えで紙メモづくり(2分) ※ブレイクアウトルームでの決め方説明(2分) ※事前30分前まで終了/対話時間20分/共有のみで可 ②ブレイクアウトルームへ移動【3-4人×10ルーム/白紙】 ※参加者同士で/自己紹介/内容共有【20分】 ③メインルームへ移動														
11:40-11:55	15	■全体セッション ※参加者はキーマンA5席に書き出して画面から提示 ※発表者のみ自身で発表発表オン/参加者は拍手で応答 ※管理メンバーからのコメント														
11:55-12:00	5	■全体振り返り-事務連絡 ※発表者のほかほか発表発表オン/参加者は拍手で応答														
12:00	120	終了 ※配信事務局にホストを返す														

○もし、『相互理解と接点発見に基づく「混ぜて組み合わせる」ためのワークシート』を使ってオンラインでワークを行う際には、前述の「ワークシートを使った進め方と留意点」に記載した進め方と時間配分を参考にして実施してみてください。

○5人くらいの少人数で行うのであればシートを記入しながら画面越しに対話を進めます。ブレイクアウトセッションを使う必要はありません。左記プログラムに関係なくワークシートの進め方に則ってください。

○大人数で複数のチームに分けて実施する場合は、全体でシートの使い方や進め方を説明後、ブレイクアウトセッションに分かれて【1】～【7】までを各々のブレイクアウトルームで進め、一旦全体(メインルーム)に戻し、メンバーをシャッフルしてブレイクアウトで振り返りを行うと各ルームでの体験交流が進んで効果的です。左記の進行表は一つの参考としていろいろと工夫してみてください。

# 「計画された偶発性理論」

(Planned Happenstance Theory)

ジョン・D・クランボルツ教授 (スタンフォード大学) 提唱

**「個人のキャリアの8割は  
予想しない偶発的なことによって決定される」  
「その偶発的なことを計画的に設計して  
自分のキャリアアップに繋げる」**

→その予期しない出来事をただ待つだけでなく、自ら創り出せるように積極的に行動したり、周囲の出来事に常に神経を研ぎ澄ませたりして、偶発を意図的・計画的にステップアップの機会へと変えていくべき

◎「今」を大切にし、想定外の「出会い」や「出来事」を自分のチャンスにしてコーディネーターがもっと内外に“接点”を創って「たまたま」を生み出そう。

**実施プログラムを地域での研修・学び・交流につなげる学習キット  
相互理解と接点発見に基づく「混ぜて組み合わせる」ためのワークシート  
使い方のポイント  
2021年6月10日 初版**

**【編集】**

**市民の参加と協働を進める多様なコーディネーション実践研究集会2021  
C-2分科会 [まぜる] 企画チーム  
加留部貴行、菊池哲佳、佐藤正枝、仙波愛優佳、土崎雄祐、矢島万理（50音順）**

**【なお、ワークシートと進行表は加留部のオリジナル素材を基に作成されたものです。】**